

2026 年 10 月 13 日

Bishu Material Exhibition

【最終報告】

**会期 2 日間で昨年同時期を上回る 804 名が来場、
1 社平均 386 点のサンプルリクエスト**

シーズン	2027/28 秋冬
会 期	2026 年 9 月 17 日 (9:30-18:00)、18 日 (9:30-17:00)
会 場	WITH HARAJUKU HALL

公益財団法人尾州ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は、9 月 17 日・18 日の 2 日間、「2027/28 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition（以下、「BME」）」を東京都渋谷区神宮前の WITH HARAJUKU HALL で開催した。32 回目となる今回の BME には尾州産地のテキスタイルメーカー 14 社が参加し、約 1,250 点の新作と FDC が提携しているパリのネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材 156 点を展示して商談を進めた。

今回も引き続き会場をファッションの街である原宿で行った。

その結果、展示会の来場者は、周辺会場での展示会の開催や出展企業が増加したこととも影響して、2025 年に開催した秋冬展と比較して、約 12%増の 804 名（学生入場者を除く）となった。また、出展企業 14 社の合計サンプルリクエスト点数は延べ 5,414 点で、社数では延べ 955 社となった。サンプルリクエスト社数は前年比で 5%減、点数は前年比で 19%減となったが、各企業で商談が行われた。

生地傾向としては、ウール素材やウール複合素材のほか、高級感や風合い、表情のある素材への志向が見られた。色使いでは TOP カラーのほか、暖色やベーシックなベージュ系統に人気があった。

また昨年に引き続き（株）糸編 代表取締役 宮浦晋哉氏を講師に招き、ファッション関係のみならず、インテリアといったプロダクト関係の若手デザイナーなどを対象に、尾州産地の講習会を開催した。参加者は産地を取り巻く現状について座学を受けた後、宮浦氏の解説のもと、各企業の展示生地を見ることで尾州産地への理解を深めた。

来場者の業種別内訳は次ページのとおり。

【以下、展示会各種数値】

＜第 32 回 2027/28 秋冬 BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社・問屋	制服・ユニフォーム インテリア	その他	計
1 日目	196 名	28 名	187 名	1 名	86 名	498 名
2 日目	111 名	34 名	105 名	1 名	55 名	306 名
計	307 名 (38.2%)	62 名 (7.7%)	292 名 (36.3%)	2 名 (0.2%)	141 名 (17.5%)	804 名 (100.0%)

※学生入場者を除く

＜第 32 回 BME のサンプルリクエスト状況＞

	アパレル		小売		商社・問屋		制服・ユニフォーム インテリア		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1 日目	269	1,500	87	495	200	1,218	0	0	2	3	512	2,963
2 日目	211	1,167	35	162	153	917	0	0	44	205	443	2,451
計	480	2,667	122	657	353	2,135	0	0	46	208	955	5,414

【会場の様子】

▼展示会 会場内



▼セミナーの様子



＜本資料のお問い合わせ＞

（公財）尾州ファッションデザインセンター
事務局長 永山
担 当 吉住
電 話：0586-46-1361
内線番号：7945